

令和4年度第2回長崎県後期高齢者医療広域連合懇話会 開催結果概要

- 1 開催日時 令和4年12月6日（火）14時00分から16時07分まで
- 2 開催場所 長崎市栄町4番9号 長崎県市町村会館 4階 第1会議室
- 3 出席委員 10名
山崎会長、川内野副会長、宮田委員、大村委員、寺井委員
松永委員、藤井委員、俣野委員、堀委員、宮本委員
- 4 傍聴者 なし
- 5 会議の概要

（1）議題等

第1号 後期高齢者医療制度について

第2号 窓口負担2割について

第3号 保健事業等について

（2）委員からの主な意見

第3号 保健事業等について

- ① 健康診査の受診率向上について、インセンティブの話があったが、それだと持続性がないのではないか。
- ② データヘルス計画の目標と各保健事業の評価内容が乖離している。事業を行うことが目標ではなく、アウトカム（成果）をどのように求めるかということを目指すべきではないか。
- ③ 後発医薬品普及事業の差額通知について、通知対象者を見直してはどうか。
- ④ 口腔ケア事業を検証すると、総じてお口が健康な方は元気である傾向があるので、歯科健診は重要であり、それにより健康度がもっと上昇すると考える。

その他

- ① 長崎県の方で、今年度の事業として健康づくりアプリの開発を行っており、その中でポイント付与等のインセンティブを考えているが、広域連合とも連携してやれることもあると思うので、一緒に連携して取り組んでいきたい。